

地域医療（青洲会病院）

1 研修プログラムの目標と特徴

我が国は超高齢化社会を目前に控え、寝たきり・認知症等、要介護高齢者や長期入院患者が増加の一途をたどり、地域医療及び保健・福祉との連携などによる包括的・継続的支援対策が極めて重要な課題となっている。本研修では、

- ① 現在、国が目指している少子化、高齢化社会に対する地域医療の各種対策、システムを理解し、その重要性を認識する。
- ② そのプログラムを遂行するため、医師として必要となるプライマリ・ケアに対する診療技術、診療態度、特に患者さんや家族への共感的態度を修得する。

2 指導責任者及び研修施設

指導責任者：山口 健一（青洲会病院 医師）

研修施設：青洲会病院（長崎県平戸市田平町山内免 612-4）

3 週間研修スケジュール

	月	火	水	木	金
施設	青洲会病院	青洲会病院	青洲会病院	青洲会病院	青洲会病院（離島）

4 研修目標（GIO: General Instructional Objective）

- 1) 患者の身体的疾患だけに目を向けるのではなく、その心理的、社会的背景を考慮した医療を実践する。
- 2) 診療所の外来一般診療はもちろん、日常生活指導・セルフケアなど患者教育・在宅ケア・訪問リハビリ・緩和ケアなど、予防・治療からリハビリテーションまでの一貫した医療を実践する。
- 3) 急性期病院（又は病棟）医院などとの連携による効率の良い医療・介護・福祉の支援体制を目指す。
- 4) 患者・家族と医療者がケアのパートナーとなるような共感できる患者—医療関係を築くべく努力する。
- 5) 必要に応じて家族もケアの対象とする。

5 評価項目（行動目標：SB0: Specific Behavior Objectives）

1) 地域保健・医療システムの理解

- ① 地域の特性に即した医療活動について、理解・実践できる。
- ② 僻地・離島医療について理解・実践できる。
- ③ 他機関との連携の必要性、重要性を理解・実践できる。

2) プライマリ・ケアの実践

- ①プライマリ・ケアの基本的理念である包括性、積極性を重視し、全人的視野から診察することができる。
- ②プライマリ・ケアに必要な診療技術・検査手段を身に付けている。特に局所だけでなく全身を診る習慣がついている。
- ③患者の身体的病気だけでなく、心理・社会的背景を考慮した共感的医療・家族への思い・ケアを支えている人やキーパーソンへの配慮などを実践できる。
- ④チーム医療(他機関・他職種など)を実践できる。